

ぽけっと

発行 2012年 3月 15日

編集 特定非営利活動法人

ママサポートえぶろん事務局

発行責任者 帯谷 昭子

緊張の実践発表！！

デパートひなたぼっこ介護主任 山川 春美

先日開催された「かえるネットワーク会議」において、自身初の実践発表を行いました。「かえるネットワーク」は、障がい・虚弱高齢者が道に迷ったり行方が分からなくなった時に、隣近所・各事業所・各団体・関係機関が連絡を取り合い、まちぐるみで発見に協力して早期に保護するという仕組みになっています。

さて、その会議の中で実践発表を行うことになってしまった私…。この依頼が来た時に、やった事が無いし、ましてや自信もないし無理だろうと思っていたのですが、それを決めるのは上司です。その上司から一言。「育ってもらわなきゃ」と業務命令が下ってしまったのでした。えっ、私が発表?! うまく話せるのか、ひなたぼっこの事をしっかり伝えられるのかと、様々な不安が頭を駆け巡りました。原稿が出来上がり、早速練習です。まずは息子の前で発表しました。「母ちゃん、いいんじゃない〜い」と、軽めの一言。なので次に両親の前で練習です。耳が遠い母は補聴器を入れてTVを消し、正座で私と向い合い、聴く姿勢は万端! 私が話し始めると目を閉じた2人…じっくり聞いてくれました。親バカ二人の感想はというと、「わかるよ。いいよ! いいよ!」と褒められたくらいにして(汗)。本当に大丈夫? と、なんだか余計に心配になり、更に増す私の中の不安と緊張。発表1週間前、役場で打ち合わせ会議が行われました。その会議で、再度あおられた私の緊張感はピーク!! 会議後職場に戻ると、スタッフ皆が口を揃え、「顔赤いよ! 熱あるんじゃない?」と言うではありませんか。検温すると 37.2℃と、なんとも微妙〜。今思えば、多分あの熱は知恵熱か緊張熱? だったと思います。(笑)

そうこうしているうちに当日を迎えました。大喰いの私が、朝食はお味噌汁しか喉を通らない…。お昼もおにぎり1個。これはもう私としては大変重症です。会場に着くと関係者の方が「用意してくれた写真見ましたよ。すごく良いものばかりで、あれを見ただけでひなたぼっこが伝わるよ〜!」と、なんとも嬉しいお言葉を掛けてくれました。それからは少しずつ緊張が解けて行き、なんとかですが「ひなたぼっこの寄り添うケア」をテーマにした実践発表を、無事終えることができました。安堵の一言です。他施設の発表もとても素晴らしいもので、私にとって、本当に貴重な経験となりました。今回の準備により、初心を思い出しこれまでのケアを振り返り、また自分自身を見つめ直す機会にもなり、この経験で小さな一歩…そしてまた一歩ずつ前進して行きたいと強く思いました。

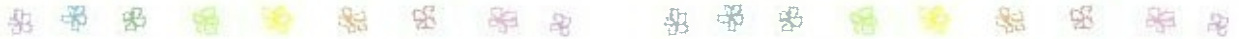
「併せ」という字には、イ(にんべん)があります。これは、誰かが傍にいて「しあわせ」という意味だそうです。これからもお年寄り一人ひとりに細やかなケアが出来るよう、またご家族の願いや思いをくみ取りながら、潤いある生活を送れるように支援して行きたいと思います。チームひなたぼっこ(チームケア)で、ひなたぼっこのお年寄りが、ご家族そして私たちの傍で「併せ」でありますように…。このような機会を頂き、本当にありがとうございました。



H13年、最愛の母を亡くしました。『親孝行したい時親は無し』昔のことわざが胸に刺さり、何も手に付かない時があり後悔しました。翌年から介護職に週3日、パートで始めました。1週間続き1ヶ月続き半年続き、今も引き続き出来る仕事でした。

H20年、縁あって【グループホームうらら花】に勤めることになりました。この仕事を続けるには、やはり資格がなければと思い、50歳を過ぎ試験を受ける事にしました。頭は固くさっぱりわからない。ですが時間をかけ、理解し整理していくと、勉強はとても奥深く楽しいものでした。それは亡き母の教え、『最初から出来る事は一つ無い！』でした。今の職場は、資格を取るにはとても良い環境です。資格を取りたい人が、月1回仕事を終えた19時から集まり、資料や教材を持ち寄って勉強会を開き、それぞれ自由に勉強出来る環境がありました。それは、昨年と同じく開かれました。毎年介護福祉士が、ママサポートえぷろんに増えています。今の職場だから、出来た事だろうと思っています。

2年前、介護福祉士資格を取得しました。もっと早くこの仕事に巡り合えていたらと思う事もありました。でも母が亡くなって、巡り合えて介護職。この先も母の教えに添って次を目指し、介護職を続けている自分が見えてきました。



ある日の ひなたぼっこ



研修に参加して



グループホームうらら花 植田 珠美

平成23年8月23日～認知症介護実践研修に行かせていただきました。参加された事のある方はご存じだと思いますが、研修内容は4日間に渡り34時間の講義と外部施設へ1日間の実習、現職場内で2週間の実習。そして実習結果をまとめ、報告を1日間という長期の研修です。年齢的に体力・集中力が保てるかとても心配でしたが、何とか付いて行く事が出来て、無事に修了証をもらうことができました。

この研修の対象者は、認知症介護業務に2年従事した経験のある者という事で、他の施設に触れる事ができ、【グループホームうらら花】しか知らない私にとっては、大いに見識を広げる場となりました。何より、介護者として自分の課題も、おぼろげながらですが意識できたように思います。うらら花スタッフの皆さんには、今研修に際してたくさんの協力と応援をいただき、本当にありがとうございました。

皆ひとりの「人」として



デイホームひなたぼっこ 山田 美香

昨年11月、認知症介護実践研修に行かせていただきました。この研修に参加すると「皆、希望に満ち溢れ目を輝かせて帰ってくる」と、ママサポートえぶろんでは言われています。果たして、私も皆のように感銘を受けることができるのだろうか？それほどの研修とは一体どのようなものなのか？私の目は輝くのだろうか？と、そんな妙なプレッシャーと不安の中、研修はスタートしたのでした。

研修内容は認知症についての医学的理解から始まり、心理的理解、コミュニケーション技術、家族理解、リスクマネジメントについてなどの専門家による講義と、グループ演習が主なものでした。参加者は約50名。だいたい6～7名で一つのグループが作られており、演習時にはそのグループで事例検討したり活動したりするのですが、通所介護・施設・病院・訪問などの様々な職場の方が集まっているため、発言内容もその職場の色や特色がよく出ていて私としてはそのあたりもとても参考になりました。

デイホームひなたぼっこは、認知症対応型通所介護です。ここで仕事をしている私にとって、認知症の方は特別な存在ではなく、ひとりの人です。世間一般ではともすると、人としての存在よりも【認知症】の人とされてしまい、認知症の【人】として理解されることが少ないように思います。実際この研修に参加した方からも、認知症の利用者さんとどう接していいのかわからないとか、認知症だから何を言っても理解できないと思っていたという話を聞き、実務に就いていてもそう感じるなら、そうでない方たちが認知症を理解するのは、本当に難しいことかもしれないと改めて思いました。確かに難しいことも困難なこともたくさんあると思います。それは世間で、【認知症の問題行動】と言われているものかもしれません。この【問題行動】という言葉があまり好きでない私にとって、ある講師の方の言葉がとても印象に残りました。それは「問題行動とは誰にとって問題なのか。認知症の方じゃないでしょ？周りの人たちにとって問題なんですよ？それを簡単に問題行動として片付けちゃダメだよね～」と。また、このようなことも言っていました。「徘徊老人とかってみんな言ってるけど、徘徊って意味知ってる？辞書には～あてもなくうろたろ歩く～って書いてあるんだよね。けどさ、認知症の方が歩き回るのは、ちゃんと理由があるんだよ。その理由を探って対応すれば、きっと安心してくれるはず。そう考えるとそれってさ、徘徊とは言わないよね？」と。

確かにキレイごとでは済まないことも多々あるのが現実だと思います。ですが、誰だって病気になるたくて病気になるんじゃない。そう思うと、切ないな～と思うことが正直たくさんあります。認知症であってもそうでなくても。その方が、自分の人生において主人公でいられるようなお手伝いが少しでもできたら…。今回この研修に参加し、そう強く感じたのでした。そんな私…。結果、目は輝いたのかな？！

いろは坂

ほめる

夜中に目が覚めてしまうことがある。手探りで枕もとのラジオをつけてみる。女性がゆっくりとした口調で、「お互いにほめあうことが大切です。そうすれば、みんなが楽しくなりますよ」と訴えている。

ふーん、なるほどと感心しながら、とりあえずこの女性を、「良いことを言っているねえ、すばらしい」とほめてみる。

窓の下でフギヤーフギヤーとやかましい声がある。どうやら猫たちの恋の季節らしい。こんな寒空の下で相手を探すのもゆるくないね、がんばりたまえとエールを送る。

ガーゴーという除雪車の音が猫の声をかき消した。また雪が降ったようだ。家のそばの空き地に雪を集めているのか、前進とバックを繰り返している。

起き上がってカーテンをめくり、外をのぞく。回転する赤色灯が目につきささる。十センチほど雪が積もっている。皆が

広井 数子

眠っている間に道路を開けてくれるあなたは本当にエライ、感謝しますとほめる。

間もなく玄関でボタンと音がした。朝刊が届いたのだ。こんな雪の中、ごくるうさまですとまたまたほめる。

すっかり目が覚めてしまったが、いまから灯りやテレビをつけるのはもったいない。節電が大切だ。そのことに気づいたのはエライぞと、ついでに自分をほめてから、再びぬくぬくとした布団にもぐりこんだ。

深夜のラジオはなかなか良いことを言う。



お知らせ

ホームページ・ブログを開設します！

平成24年4月1日より、足寄町の医療と介護・保健と福祉の情報サイト【あしよろって】のホームページが開設されます。

その中に、当法人のホームページを設けて頂きました。各事業所の利用案内や写真館、スタッフ紹介等を更新していく予定です。

そして！ブログも開設することになりました。ママサポートえぶろんが皆様に少しでも伝わるような、そんな内容になればと考えています。

お楽しみに～!!

- ・ホームページ
- ・ブログ

NPO法人ママサポートえぶろん

会員数

- ・個人会員 32人
- ・利用会員 19人
- ・賛助会員 79人

平成24年3月15日現在

特定非営利活動法人(NPO)

ママサポートえぶろんは民間非営利活動団体です。

会員の皆様の会費と寄付により運営しております。皆様の支援をよろしく願います。